



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 75 名 出席 55 名 出席率 73.33% 前回出席率 88.00% 修正出席 70 名 確定出席率 93.33%

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

昨夜から今日にかけて庄内特有の地吹雪に見舞われております。明日あたりから小康状態に入ることです。風邪には十分お気をつけて下さい。以上で会長報告とします。

幹 事 報 告

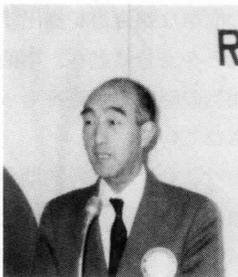
齋 藤 隆 君

1. 日中友好のしんぶん「日本と中国」
1月1日号到着
2. トロントで行なわれた世界大会の記念誌到着

会 員 ス ピ ー チ

石 油 後 の 世 界

風 間 真 一 君



新春からご指名いただき
又、1ヶ月前から森田さん
からお話があり、色々考
えてみたのでありますが、当
初の景気動向からのテーマ
であります。 “石油後の
世界” 等について、日本を

含めた話題についてお話を申し上げます。

正月の新聞には、世界や日本の “未来” を展望する記事が多く載っていたので、私もそのような方向で、昨年或るセミナーで現在米国でベストセラーになっているナスバウム著 “石油後の世界 The World after Oil” の要点を聞いて来たので、それを紹介したいと思います。

この10年間 2度の石油ショックを経て石油離れが進み、これからは石油に替って技術が重要視される。それによって世界の富が再配分される。その世界を変えて行く技術は次の三つである。

- ① ロボット産業 生産の考え方や方法を大巾に変えてしまう。又、ロボットに対する依存率が高くなる。
- ② バイオテクノロジー 食物や医療の面から生

命に大きな影響を与えよう。

- ③ コンピューター・コミュニケーション
コンピューターを通信回線で結ぶことによって、
大量な情報を距離を越えて即時に処理可能になる。

このような油に替って三つの技術が世界を変えて行くという視点でこれからの世界を見ると、

1. オペックにはたそがれがやって来る。
2. ソ連は産油国なのでオペックと同様苦しくなるだろう。
3. 西ドイツの沈没とECの分裂 (フランスが新しい核になる) 西独ではナチスがユダヤ人を追放したので、優秀な科学者がいなくなった。(特にバイオでは人がいない) 全体的に技術が伴わず生産性が上らないので、輸出競争力が落ち、輸出出来る先は東欧しかなくなり、東欧にのめり込んでいく。またリスクライカーのユダヤ人を追放したので、資本の面でも遅れをとっている。
4. 発展途上国が非生産化していく ロボットの発達により、後進地域に生産拠点を求める理由がなくなり、逆に引き上げつつある。
5. その中で、キャッチアップに成功した朝鮮・台

庄内空港の建設を推進しましょう

湾・香港・シンガポールの四匹のタイガーは生き残る。

6. エレクトロニクス重商主義の日本は、教育文化が高く勤勉なので、太平洋のリーダーたり得るであろう。その日本のアキレス腱は人口の老化化である。
7. アメリカはこれから第二の南北戦争に入る。それは在来産業の東部とエレクトロニクスの西部の東西のCivil Warがくる。その結果により米国の未来がきまってくる。

以上、日本を含めた世界の未来を石油から新技術へという視点で概観してみるわけであるが、もっともと思われる点、或はそういうことなのかなあと思われることなど受取り方はいろいろあると思いますが、お氣にとめて頂ければ幸いです。

スマイル

佐藤 衛君 1月15日(日)前田製管株式会社協会の
マーチャン大会に2年連続優勝。
(今週の担当者 小松 三雄)



ロータリー用語便覧 (1)

地域社会とロータリーの役割 市や町の住民が生活する中でロータリー・クラブが特異な役割を果たしていることは、一般にもかなり認識されている。

その理由として上げられるのは、ロータリアンが地域社会における一般に認められた専門職業活動を代表する人たちだという点であろう。したがってクラブ会員は鋭い直観と豊かな想像力をもって、地域は住民の声をきき、積極的に地域の問題にとり組む姿勢が要求されている。

地区とは 国際ロータリーは、加盟クラブを管理する便宜上、全世界のロータリークラブを幾つかのグループに分けている。そしてこれらのグループを地区という。1977～78年度の地区の総数は369。そのほか、隣接クラブと距離的に隔絶しているために、これらの地区に附属させられることを不便とするクラブが56あって、これらは「地区に所属しないクラブ」と呼ばれている。しかし理事会は、逐次これを地区に包含したい意向であり、1973年から第258地区に編入されたグアムおよびサイパンの四つのクラブの例は、この方針にもとづくものである。

地区ガバナー 地区ガバナーは、国際ロータリー理事会の指揮下において、その地区のクラブの管理・運営にあたる。地区における唯一の国際ロータリーの役員であり、最高の責任者でもある。

地区ガバナー指名証書 次期ガバナーは、地区内のクラブにより地区内で採用された方法で

正式に指名されたなら、これを証明する書類をR.I.に提出しなければならない。これを地区ガバナー指名証書と呼んでいるが、それにはその地区の現ガバナーおよび地区大会幹事の署名が必要とされる。

地区ガバナーへの報告 (Report for District Governor) 地区ガバナーがクラブを訪問する前に、クラブの各委員会はその活動状態・業績・将来の計画についての簡単な報告書を提出することになっているが、それらを十分に調べ、事前にチェックできるように、相当の時間的余裕をもって提出するのが望ましいとされている。

地区協議会 地区内における全クラブの次期会長、幹事およびその他指名されたクラブの指導者たちが集まって開く会合で、次年度の地区運営に備えてクラブ内外諸般のロータリー活動について協議し、それらについての知識・情報を交換しあう。この協議会は、次期ガバナーの協力を得て地区ガバナーが主宰し、会長と幹事には出席の義務がある。

なお、開催日は、R.I.細則の規定にかかわらず、数年来、毎年、R.I.理事会が「国際協議会、終了後なるべく早く、6月30日より遅くならない時期に開催することを強く要望する」と言明するのが慣例となっている。しかし国際大会関係の時期が遅い年度には、7月開催が認可されることがある。

地区諮問委員会 国際ロータリー理事会が認めた地区ガバナーの諮問に応ずる委員会。地区ガバナーに対し、その地区の運営・管理について多角的な助言を行なう。委員は地区内の元R.I.役員の中から選ばれる。